

2022年4月25日作成

Ver.1.0

**安定冠動脈疾患における安静時虚血指標の診断能に関する研究****1、研究の目的と意義**

安定冠動脈疾患においては、血管造影だけでなく、冠動脈血流評価（虚血評価）に基づいて治療方針を決めることが望ましいとされています。従来、薬剤で血管を拡張させてから冠血流予備量比（fractional flow reserve: FFR）を測定することで虚血評価をしていましたが、最近では薬剤負荷の要らない安静時指標という手法も用いることができるようになりました。本研究では安静時指標と FFR の診断不一致がどのような背景で起こりやすいのかを検討します。安静時指標による評価だけで十分な患者さんを判断することができれば、検査の時間短縮や副作用リスク軽減が期待できます。

**2、対象となる患者さん**

期間：2018年4月1日～2024年3月31日

対象：期間中に心臓カテーテル検査を受け、安静時指標と FFR の両方で冠動脈の虚血評価を行った安定冠動脈疾患の患者さん

年齢：20歳以上

**3、研究の方法**

診療録より下記データを抽出し、安静時指標と FFR の診断一致群と不一致群に分けてデータ解析を行い、影響する因子を明らかにします。

なお安静時指標は、従来の FFR の検査手技の中で同時に測定ができるため、本研究のために追加して行う検査はありません。

**4、研究に用いる情報**

- 患者背景：年齢、性別、身長、体重、喫煙歴、家族歴、併存症、過去の冠動脈疾患治療歴、服薬内容
- 血液生化学検査
- 心電図
- 足関節上腕血圧比検査
- 心エコー図検査
- 心臓カテーテル検査：安静時指標、FFR、冠動脈造影、心内圧および冠動脈内圧データ
- 心筋シンチグラフィ検査（施行症例のみ）
- 通常診療で行う栄養評価：CONUT スコア、PIN スコア、GNRI スコア

本研究で利用する情報について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「問い合わせ先」までご連絡ください。

## 5、研究期間

研究機関長の許可日～2025年3月31日

## 6、外部への情報の提供

該当なし

## 7、研究実施体制

この研究は長崎大学病院のみで実施する研究です。

《研究責任者》

長崎大学病院 循環器内科 前村 浩二

## 8.お問い合わせ先

長崎大学病院 循環器内科 本田 智大

〒852-8501 長崎市坂本1丁目7番1号

電話：095（819）7288 FAX 095（819）7290

【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）

苦情相談窓口：医療安全課 095（819）7616

受付時間：月～金 9：00～17：00（祝・祭日を除く）